

平成 25 年度 学校評価表 熊本中央高等学校

<p>1. 学校教育目標</p> <p>自ら学び、考え、正しい判断の基に行動できるよう豊かな人間性を身に付けた心身ともに健康な生徒を育成する。</p> <p>(1) 学級・学年や学校での集団生活を通して、市民生活や社会人としての基礎基本を身に付けた生徒を育成する。</p> <p>(2) 自己の目標を実現する為、学業や資格取得に主体的・積極的に取り組む生徒の育成に努める。</p> <p>(3) 明るく、素直な心を持ち、人を思いやることのできる徳知体のバランスの取れた人間形成に努める。</p>						
<p>2. 教育の努力目標・重点的実践事項</p> <p>学習活動や学級経営・ホームルーム指導を通じた集団・仲間づくりや部活動や実習・体験活動を通して「わかる・できる喜び、学ぶ楽しさや役に立つ・認められる喜び」を実感させ、「一人ひとりが自信を持つ喜び」を体験させることを教育の指針とする。</p> <p>(1) 学力の向上 (2) 生徒指導と心の教育の推進 (3) 進路保障</p> <p>(4) 部活動・生徒会活動・ボランティア活動・図書館(読書)活動の促進</p>						
<p>3. 自己評価総括表</p> <p style="text-align: right;">評価基準 A: できている B: 概ねできている C: できていない</p>						
評価項目		評価の観点・重点目標	評価			課題と対策
			A	B	C	
学校経営	建学の精神と教育目標・基本方針	学級経営への教育方針の反映 一人ひとりの生徒の個性の把握と指導 生徒の個性の尊重と意欲の向上 保護者との連携の促進	39%	51%	10%	学校教育目標や努力目標の保護者への周知が不足し、協力が得られていない点を次年度ホームページ等で周知し協力を願う。
	学習指導	学習方法の工夫と教材研究・視聴覚教具、教育機器や図書館の活用・基礎的基本的な学習内容の徹底・個に応じた指導援助と改善・評価(試験)内容の吟味・生徒に感銘を与える授業構成・生徒の長所の伸長	40%	51%	9%	学習方法を工夫し魅力ある授業づくりはできているが、教材・教具の活用が不足している点を環境整備を含めて努力していく。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	生徒との対話や相談・生徒との好ましい人間関係・生徒同士の好ましい人間関係づくり・生徒の長所の伸長・生徒の氏名性格の把握・個別指導記録と毅然とした指導・家庭との協力連携と家庭訪問	40%	46%	14%	望ましい人間関係づくりはできている。今後は家庭訪問やクラス懇談会等での対話の場づくりを行い、家庭とのコミュニケーションを深める。

指導力の向上	研修	専門分野の研究・教育図書の利用・得意分野の講話	44%	46%	10%	専門図書の充実や整理整頓を奨励し、専門職としての指導力向上に努め、多忙化の軽減へ向けて環境整備を行っていく。
	生活	公私の区別・出退勤の厳守・精神安定と解決				
	校務処理	提出文書や調査物の期限厳守・文書の校正や提示や整理整頓				
	指導力	教師としての誠実性・信頼性・公平性・協調性・指導力				

4. 学校関係評価 評価基準 A: [できている 概ねできている] B: どちらともいえない C: [どちらかというのできていない できていない]

保護者による評価（アンケート） 全学年回収率 52.3%		全学年%		
		A	B	C
学校運営	学校は教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている	54	40	6
	学校からの各種だよりで学校生活の様子を知ることができる	59	31	10
	学校は授業や行事等を参観する機会を適切に設けている	48	40	12
	学校は子どもの良い所や努力を適切に評価している	64	32	4
	学校は施設・設備の整備に努め、安全で整った教育環境を作っている	47	40	13
	学校は職業や進路についての適切な指導や情報提供を行っている	59	33	8
学習指導	学校は生徒の学習評価について、子どもや保護者にわかりやすく示している	63	31	6
	学校は子どもの学力や学習の様子を適切に評価している	70	25	5
	学校は指導方法や教材等を工夫して、わかりやすい授業づくりに努めている	51	43	6
	子どもは学校の授業内容を理解している	56	33	11
	子どもは家庭学習ができている	46	28	26
生徒指導面	子どもは高校生としての基本的な生活習慣を身に付けている	72	21	7
	学校は挨拶やルール、マナー等、社会に通用する指導を行っている	65	30	5
	学校はいじめや悪い行動に対して適切に指導している	57	36	7
	学校は厳しさの中にも優しさのある生活指導をしている	68	28	4
	子どもは学校生活の決まりを守って生活している	73	22	5
その他	子どもは学級活動・生徒会活動や各種行事など熱心に取り組んでいる	60	32	8
	子どもはのびのびと学び、安心して学校生活を送っている	76	20	4
	家庭で子どもと学校のことについてよく話をする	72	22	6
	授業参観や学級懇談・各種行事などにできるだけ参加している	41	27	32

意見・要望（複数意見・要望のみ）

- ・部活動・学習で子どものやる気を引き出す指導を頂いたことや充実した高校生活を送れたことに感謝
- ・学生のレベルの底上げを望む
- ・学校の様子を知るためにも三者面談や家庭訪問を計画し、子どものことを話す機会を設けてほしい。
- ・明るい生徒が多いし、入学させて良かった安心している。

生徒へのアンケート（卒業生アンケート）

・思い出に残った行事は（複数回答可）

修学旅行 体育祭・文化祭 予餞会 クラスマッチ 日々の生活 戴帽式 強歩会 全部

・授業の雰囲気（複数回答可）

楽しかった 騒がしかった 教科によって違う 普通 寝ている人がいた 真剣に取り組んでいた

・「入学して良かったと思うか」と「良かった」こと（複数回答可）

とても良かった・良かった（68%） 普通（27%） 他校へ行けばよかった（5%）

《良かった点》

気の合う友人ができた（63%）

クラスがとても楽しかった（43%）

良い先生に会えた（39%）

精神面で成長できた（30%）

目標が持てた（29%）

視野が広がった（23%）

検定合格できた（22%）

自分を変えることができた・努力した結果がでた（18%）

成績が上昇した（17%）

部活が楽しかった（16%）

他人のことを考えるようになった（16%）

責任感が強くなった（14%）

挨拶や礼儀・マナーを学んだ（13%）

積極的になった（13%）

授業がわかりやすかった（7%）

5. 総合評価と次年度への取り組み

評価項目の学級経営，学力向上，生徒指導，指導力向上については概ね達成できていると考える。次年度へむけては，さらに項目を整理し，取り組むべき課題について向上をはかるように努める。また，保護者への周知や協力体制を整えるべく，ホームページや学年懇談会，クラス懇談，家庭訪問のあり方等を検討し，期待に応える対応を検討していくこととする。まずは，学校教育目標をホームページに掲載し，その理解と協力を求めていくこととする。